

申請書記載上の留意事項(物品)

(1)「参加を希望する業種」

主に入札参加を希望する業種を1業種、それ以外に希望する業種がある場合は4業種まで申請することができます。ただし、申請者が能美市との取引に常に応じられる業種に限ります。分類番号及び各業種の内容は添付ファイルの営業品目を参照してください。

(2)「主な取扱品目(業務内容)」

入札参加を希望する業種の取扱品目または業務内容について、上段から左詰めで100字以内で記入してください。営業種目一覧を参考に具体的に記入してください。字数は、複数の業種を申請する場合も合計で100字以内(句読点を含む。)とします。略称を使って字数を少なくしてください。

(例)「パーソナルコンピュータ」→「パソコン」、「リハビリテーション機器」→「リハビリ機器」

また、販売業の場合「取扱商品のメーカー名」欄に主な取扱メーカー名を記載してください。

(3)「創業の時期」

ア)個人経営から法人組織に変更した場合は、個人営業開始年月を記載してください。

イ)個人又は法人が合併により従来と全く異なった営業になった場合、その変更により発足した年月を記載してください。

ウ)個人又は法人が営業を承継した場合は、前営業の発足した年月を記載してください。

(4)「役員及び従業員数」

雇用期間を定めずに雇用されている者または1年以上の雇用期間を定めて雇用されている者の数を記載してください。(臨時または日々雇用契約による従業員数は含めないでください。)

(5)「主な契約(取引)の概要」

直前の決算期間中における売上に係る契約(取引)の中から主なものを記入してください。官公庁、民間取引を問わず、主要な取引を5つまで選んで記載してください。(契約(取引)内容は、申請者の判断で記載してください。)

能美市との契約(取引)があった場合、最低1つは記載してください。

その他

(1) 金額の千円未満の端数は切り捨てて記載してください。

(2) 参加資格者決定通知を受けてから、経営の状態が申請の内容と著しく相違したとき及び提出書類の記載事項に変更が生じた場合は、「競争入札参加資格者内容変更届出書(物品等)」を提出してください。

(3) 申請内容の一部は公開することがありますのであらかじめご了承ください。

審査項目

提出された書類により次の項目を審査します。

(1) 営業年数

審査基準日の前日までの営業年数

(2) 役員及び従業員数

審査基準日の前日における常勤の役員及び従業員数

(3) 自己資本の額

直前決算における自己資本の額

(4) 自己資本比率

前号に定める自己資本の額を直前決算における総資本の額で除して得た率

(5) 流動比率

直前決算における流動資産の額を流動負債の額で除して得た率

(6) 固定比率

直前決算における固定資産の額を自己資本の額で除して得た率

(7) 総資本経常利益率

直前決算における経常利益の額を総資本の額で除して得た率

(8) 年間販売(製造)高

直前決算における販売高又は製造高